

# ふうしゃだより

WINDMILL LETTER

2024.  
12月号

皆様こんにちは。日本風力エネルギー(株)です。

本年も大変お世話になりました。

2024年最後にお届けさせていただきます「ふうしゃだより」は、北栄町の「北条砂丘風力発電所」の建設にご尽力された初代北栄町長 松本昭夫様のインタビューを載せております。建設推進における想いなどを伺わせて頂きました。

年の瀬も迫り何かとご多用のことと存じますが、体調を崩されませんようご留意し、良いお年をお迎えください。



注目コンテンツ

- ・初代北栄町長の松本昭夫氏インタビュー  
「“やさしい風のふくまち”北栄町の自然資源を活用し、地球温暖化ストップへ取り組む町へ。」
- ・日本風力エネルギー：社会貢献活動のご紹介



弊社が計画しております「(仮称)鳥取風力発電事業」は計画段階であり、風車の位置などは地域住民や専門家のご意見を頂きながら、進めてまいります。説明会や話し合いの機会を頂戴できますと幸いです。環境影響評価方法書への知事意見として、「住民等一人一人にきちんと情報が届くように丁寧に説明をおこなうこと」が求められました。「ふうしゃだより」が情報提供の一端を担えるよう尽力してまいります。



# “やさしい風のふくまち” 北栄町の自然資源を活用し、地球温暖化ストップへ取り組む町へ。



## 9基の風車を有する「北条砂丘風力発電所」の建設にご尽力された 初代北栄町長、松本昭夫氏にお話を伺いました。



北栄町に風力発電所を建設したいと思われた理由をお聞かせください。



松本前北栄町長  
インタビューの様子

北栄町は、旧大栄町と旧北条町が合併し、2005年に出来た新しい町です。私は初代町長に就任した当時、「町づくり」の基盤として風力発電所を実現したいという想いもありましたが、兎にも角にも、「地球温暖化」をストップするために、今動かないといけないという想いが大変強かったです。

地球温暖化をストップしなくてはいけないと思ったきっかけを教えてください。

「地球温暖化をストップさせたい」と強く思ったきっかけは、1997年に「京都議定書」が採決されたことです。京都議定書において、日本も二酸化炭素削減量の目標値を決めました。発電において二酸化炭素を排出しない風力発電所の建設を北栄町で進めることは重要であると思いました。また、地球温暖化という課題の解決を子どもや孫などの未来の世代へ、先送りにしたくないという想いもあり、是非とも風力発電所を推進したいと思いました。

北栄町に風力発電所が出来て、良かったと思うことをお聞かせください。

建設に関しては、賛否様々なご意見がありました。懸念の声に対しては、しっかりと説明をし、風力発電所の建設にこぎつけました。  
良かったこととして、再度となりますが、「地球温暖化」対策、未来の世代の負担低減に微力ですが取り組めたことです。  
また、風力発電所の電力を販売することで、北栄町の自主財源の拡充が図れました。町立小中学校への太陽光発電パネルの設置、省エネ住宅への改修補助金、全町の街灯のLED街灯化などへ活用するなどし、北栄町が二酸化炭素の削減に取り組めたことです。  
また、小学校などの校外学習として、風力発電所を見学するなど、我々の生活にはなくてはならない「エネルギー」について、身近にある風力発電所で学べることも良かったと思っています。

### データで見る栄町と北条砂丘風発電所

事業費	約28億円(財源:NEDO補助7億円/公営企業債20.5億円) <メモ>公営企業債(借金)の返済は平成30年度(2018年度)に完済しています。
収入	発電電力の中国電力への売電料 ※北条砂丘風力発電所の運営管理には、電力の販売収入が使われ、税金は使われていません。
発電量	23,900MWh(年間推定売電電力量) 年間約5,400世帯 ※北栄町の全世帯(5,487世帯 ※2024年現在)へ供給できる電力を発電
竣工	平成17年(2005年)11月 (事業期間:20年間 ※建設期間は除く)
発電施設位置	鳥取県東伯郡北栄町江北、国坂、下神、松神地内
風車基数	1.5MW×9基 MD-77ドイツ リパワー社(現 セルビオン)

<出典>  
北栄町ホームページ「風力発電の概要」 <https://www.e-hokuei.net/1931.htm>  
北栄町の環境への取り組みと脱炭素ロードマップについて  
<https://www.e-hokuei.net/secure/17296/2022100201.pdf>

#### 松本前町長、令和4年旭日小綬章を受章

旧北条町町長を一期活動の後、旧北条町と旧大栄町との合併で誕生した鳥取県北栄町の初代町長を就任、北栄町長として通算4期16年務められ、合併後の町政の伸展、住民福祉等の功績により旭日小綬章(功労概要:地方自治功労)を受章されました。



日本風力エネルギーは、地元貢献および持続可能な社会の実現に向けて、  
社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。  
2024年に取り組んだ活動を紹介させていただきます。

(仮称)鳥取風力発電事業の地域住民の皆様と一緒に  
地域活性化策や活動を考えて参りたいと思っております。  
皆様のご意見やご要望を頂けますと幸いです。

### 青森県中泊町:地域の文化財の改修・学術研究への支援

2022年4月、青森県中泊町で「中里風力発電所」が稼働開始して以来、風力発電所が設置されている尾別地区にある町の文化財「大正浪漫かほるスタンドグラス 宮越家 離れ／庭園」の修繕及び学術研究を進める為の寄附を行っています。

今年は春・秋の期間限定の公開には、延べ5,000名以上の方々に訪問頂きました。

また、学術研究により、宮越家の襖絵が大英博物館が所蔵する400年以上前の狩野派の襖絵「秋冬花鳥図」と対であることが分かりました。

地元観光資源の価値向上のご支援を続けています。



「宮越家」が所蔵・一般公開されている襖絵

### 地域の農産物を東京で紹介！ マルシェを開催

我々は、地元の自然資源である“風”や“太陽”を活用し、再生可能エネルギー発電所でクリーンな電力を作っています。

日頃、発電所の開発、運営においてお世話になっている地域の野菜や果物、特産品などを買い取らせて、従業員が販売するマルシェに今年も参加しました。

今年は、中泊町、七戸町（ともに青森県）、白石市（宮城県）、浜田市（島根県）、米原市（滋賀県）から届けられた新鮮な野菜やお米、特産品を多くの消費者にお届けできました。



### 次世代へ学びの機会:中泊町、台湾への研修旅行

弊社では次世代を担う若者へ再生可能エネルギーや脱炭素社会を実現に向けて学ぶ様々なプログラムに取り組んでいます。

今年の夏休みに開催した台湾への研修旅行には、秋田県、石川県、福岡県、鹿児島県から13名の高校2年生が参加し、再エネと自然共生について学んだり、現地の台湾の高校生との交流会を通じ、グローバルな視点でエネルギー問題に向き合うことの重要性を再確認しました。

